

中世アーカイブズ学序説

上島 有著 ▶ B5判・400頁／定価：本体 13,000円(税別) ISBN978-4-7842-1542-3 2015年2月刊行予定

文書を単なる文献資料としてのみ扱うのではなく、「もの」としてとらえ、その総体を研究の対象とし続けてきた著者が、永年の研究成果を「アーカイブズ学序説」としてまとめる。

序章では、文書を「かたち」「かたまり」「かさなり」の総体として、たんに静態としてだけでなく動態として、さらに古代から近現代にいたるまでを一貫した観点でとらえる理論的枠組みを提唱し、それをふまえた本論・補論で、中世・近世にまたがる個別文書群について論究する。

◆◆予定目次◆◆

序章 アーカイブズ学としての中世古文書学への道 —東寺百合文書からアーカイブズ学へ—

第一節 アーカイブズの整理原則と研究分野

—「記録史料管理論」と「記録史料認識論」の統一的把握
原形態の尊重／原秩序の尊重／原伝存の尊重／中世アーカイブズと「アーカイブズのライフサイクル」／アーカイブズとしての文書とその文字列・非文字列情報／記録史料管理論と記録史料認識論

第二節 アーカイブズとしての東寺文書

—「かさなり」「かたまり」「かたち」と東寺文書
東寺文書の管理と文書の「かさなり」／東寺百合文書の整理と文書の「かたまり」／東寺百合文書の補修と文書の「かたち」／中世東寺の文書管理

第三節 記録史料学からアーカイブズ学へ

文献史料学から新しい史料学へ／新しい史料学から記録史料学へ

第一章 妙蓮寺の近世文書について

第二章 近世の武家書札礼と公帖

—南禅寺公帖の形態論的研究—

第一節 中世の公帖

足利将軍の公帖／足利将軍の公帖の封式／足利将軍の公帖の書式／古河公方足利晴氏の公帖

第二節 近世の公帖

公帖と「天下人」／豊臣秀吉・秀次の公帖／徳川家康・秀忠の公帖／本紙差出書の署名・署判／封紙ウワ書の差出書と宛書／封式・書式の固定化

第三節 近世公帖の料紙・花押等の変遷

料紙について／花押について／文字の配置と墨継ぎについて／

宛書の書き方について

第三章 近世の領知判物・朱印状と公帖

—室町時代の御判御教書との関連で—

第一節 朱印状と公帖の形態上の相違点

料紙の折り方／本紙宛書の書き方／封紙ウワ書の書き方

第二節 室町時代の御判御教書

第三節 御判御教書の二つの形態

御判御教書Aと御判御教書B／御判御教書の料紙の折り方／御判御教書の「包紙」・封紙とそのウワ書／御判御教書の本紙宛書の書き方／御判御教書Bとしての公帖

第四節 御判御教書と朱印状・公帖

第四章 天龍寺の朱印状と公帖

—中世古文書学と近世古文書学の継承性に関する試論—

第一節 朱印状の封式—本紙・「包紙」の折り方とその宛名
御判御教書A・Bと朱印状・公帖／文書の本紙の折り方と堅ノ中折／朱印状の「包紙」とその宛名／朱印状の「包紙」の折り方

第二節 朱印状の書式と文書様式

朱印状の書式／朱印状の書式の構成要素／下文様文書としての朱印状

第三節 公帖の封式

室町時代の公帖とその封式／戦国時代の公帖／江戸時代の公帖／公帖の封紙の折り方

第四節 朱印状と公帖の料紙—中世から近世への檀紙


中世と近世の檀紙の概観／公帖の料紙／朱印状の料紙／朱印状と公帖の料紙研究とその課題

補論 殿下と将軍—奉書と檀紙、折紙と堅紙

うえじま・たもつ…1924年三重県生。1950年京都大学文学部史学科卒業。京都府立総合資料館を経て、大阪電気通信大学・摂南大学・花園大学教授を歴任。1971年京都大学文学博士。1999年密教学芸賞・角川源義賞を受賞（『東寺・東寺文書の研究』思文閣出版）。摂南大学名誉教授。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	中世アーカイブズ学序説	本体13,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1542-3	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
			本書HPのQRコード		書店番線印

東寺百合文書 [既刊11巻]

京都府立総合資料館編

東寺に襲蔵されてきた、奈良時代から江戸時代初期までの総数18,000点・27,000通におよぶ日本最大の古文書群である東寺百合文書(平成9年国宝に指定)の「カタカナ之部」を翻刻。

▶A5判・平均440頁／(各)本体9,500円(税別)

- 第1巻 イ函・ロ函一 ISBN4-7842-1182-9
- 第2巻 ロ函二 ISBN4-7842-1224-8
- 第3巻 ロ函三 ISBN4-7842-1266-3
- 第4巻 ロ函四・ハ函一 ISBN4-7842-1319-8
- 第5巻 ハ函二 ISBN978-4-7842-1364-1
- 第6巻 ハ函三・ニ函一 ISBN978-4-7842-1435-8
- 第7巻 ニ函二 ISBN978-4-7842-1480-8
- 第8巻 ニ函三・ホ函・ヘ函・ト函一 ISBN978-4-7842-1532-4
- 第9巻 ト函二・チ函一 ISBN978-4-7842-1585-0
- 第10巻 チ函二 ISBN978-4-7842-1657-4
- 第11巻 チ函三 ISBN978-4-7842-1759-5

東寺文書と中世の諸相

東寺文書研究会編

日本の古文書を代表する史料群であり、中世の基本史料である東寺文書。そのうち東寺百合文書は1997年に国宝指定を受けている。本書は、東寺文書に魅せられた中世史研究者により、1994年以降続けられた東寺文書研究会での研究成果の第二弾。研究会の報告を基礎に最新の成果を披露した19篇。

▶A5判・654頁／本体11,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1578-2

※東寺・東寺文書の研究

上島有著

近世文書や聖教類も含めた東寺文書の整理の歴史を、東寺と東寺文書の研究に永年携わってきた著者が、寺史や伝来とも関わらせて集大成する。第21回角川源義賞受賞。

【内容】東寺の歴史／東寺文書の伝来と現状／東寺百合文書の整理と目録作成／東寺文書をめぐって

▶A5判・872頁／本体17,000円(税別)

ISBN4-7842-0979-4

南都寺院文書の世界

勝山清次編

東大寺宝珠院(法華堂文書・宝珠院文書)と興福寺一乗院坊官二条家(一乗院文書・一乗院御用日記)に伝来した文書の3年間に渡る調査・研究の成果をまとめた一書。東大寺・興福寺を中心とした南都寺院の寺領やネットワークに関する研究をこれらの史料をもとに展開する。論考8篇と史料翻刻3篇収録。

▶A5判・350頁／本体5,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1369-6

九条家本延喜式 [全5巻]

東京国立博物館古典籍叢刊編集委員会編

国宝・九条家本延喜式は、平安～鎌倉時代の書写と見られ、さらにはその紙背に平安時代後期を中心とする多数の古文書が残されていることから、『延喜式』諸本のなかでも最も重要な写本である。FMスクリーン印刷により、紙背も含め全冊を影印で刊行。最終刊には紙背文書の翻刻を付す。【既刊3巻】

▶A5判・平均500頁／既刊(各)本体15,000円(税別)

御堂関白記全註釈 [全16冊]

山中裕編

平安時代を代表する一級史料、藤原道長の日記「御堂関白記」の原文・読み下しと詳細な註により構成するシリーズ。全16冊(第1期・第2期)が完結したのを機に、入手困難な第1期(国書刊行会・高科書店発行)の全8冊を復刊する。

▶A5判・平均250頁

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 寛弘元年 本体8,100円(税別) | 寛弘7年 本体5,500円(税別) |
| 寛弘2年 本体5,700円(税別) | 寛弘4年 本体5,500円(税別) |
| 寛弘6年 【改訂版】 本体4,800円(税別) | |
| 長和元年 本体8,400円(税別) | 寛弘8年 本体6,500円(税別) |
| 長和2年 本体11,100円(税別) | 寛弘5年 本体5,000円(税別) |
| 寛仁元年 本体7,500円(税別) | 長和5年 本体11,500円(税別) |
| 寛仁2年上 本体5,400円(税別) | |
| 寛仁2年下～治安元年 本体5,500円(税別) | |
| 長和4年 本体6,000円(税別) | 御堂御記抄/長徳4年～長保2年 |
| 寛弘3年 本体5,500円(税別) | 本体5,000円(税別) |

東寺百合文書を読む よみがえる日本の中世

上島有・大山喬平・黒川直則編

京都の東寺に伝えられた日本中世の古文書群である東寺百合文書。およそ27,000通・総数18,000点の中から50点を選び、魅力の一端を紹介する。

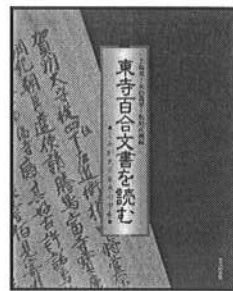
各文書に釈文と第一線の研究者による解説を付し、大型写真で紹介する、中世文書を読み解くための格好の入門書。

ユネスコ世界記憶遺産登録を機に、復刊増刷。

▶B5判変・160頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-0978-1

【2015年2月復刊予定】



東寺廿一口供僧方評定引付 [全8冊・別巻1冊]

伊藤俊一・富田正弘・本多俊彦編

日本中世の基本史料である国宝「東寺百合文書」のなかに含まれる「東寺廿一口供僧方評定引付」93冊分を編年順に編集・翻刻し、校定・注釈(とくに関連文書の注記)を加える。当「引付」の編年史料集によって、膨大な東寺旧蔵文書群の概要を一通り通覧することが可能となる。

【既刊2巻】

▶A5判・平均350頁／既刊(各)本体6,500円(税別)

東寺宝物の成立過程の研究

新見康子著

南北朝時代の寺誌である『東宝記』や東寺百合文書にみられる宝物目録などの豊富な史料をもとに、東寺に残る文化財の伝来過程を具体的に体系化した一書。今後の文化財の活用や保存を前提に、本来の保管形態を復元し、伝来を確定して位置付けをしない。カラー口絵4頁・本文挿入図版80点。

▶A5判・638頁／本体12,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1368-9

※東大寺文書を読む

堀池春峰監修／綾村宏・永村眞・湯山賢一編

古代を今に伝える東大寺文書(平成10年国宝指定)より50余点を選びその魅力を紹介。各文書には第一線の研究者による解説と釈文を付す。文書写真は大型図版で掲載、カラー口絵4点を付す。

【内容】文書の伝来／勸進と檀越／寺家と寺領／法会と教学／文書の姿

▶B5判変・192頁／本体2,800円(税別)

ISBN4-7842-1074-1

天龍寺文書の研究

原田正俊編

京都嵯峨の名刹・天龍寺の古文書は、仏教史・寺院史のみならず多数の朝廷・幕府発 給の文書、荘園関係文書を含み、政治史・社会経済史研究に必須の文書群である。第一部には鎌倉時代～慶長5年の中世天龍寺関係文書および関連諸塔頭文書を翻刻・掲載、第二部には研究編として解説・論考を収録する。

▶A5判・716頁／本体14,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1571-3

京都大学文学部博物館の古文書 [全12輯]

京都大学文学部国史研究所蔵の古文書の中からテーマ毎に編集、代表的なものを写真で紹介し、その解説・釈文を付す。関係史料や地図・表なども併載し、古文書の研究と鑑賞に資す。

▶B4判・平均32頁／(各)本体2,000円(税別)

- 第1輯 長講堂領目録と島田家文書(解説:大山喬平)
- 第2輯 若狭秦家文書(解説:熱田公)
- 第3輯 細川頼之と西山地藏院文書(解説:大山喬平)
- 第4輯 勸修寺家本職掌部類(解説:吉川真司)
- 第5輯 駿河伊達家文書(解説:今岡典和)
- 第6輯 東大寺文書(解説:久野修義)
- 第7輯 伊勢御師と来田文書(解説:西山克)
- 第8輯 大山崎宝積寺文書(解説:仁木宏)
- 第9輯 浄土宗西山派と三鈔寺文書(解説:大山喬平)
- 第10輯 葛川明王院文書(解説:田良島哲)
- 第11輯 永昌記紙背文書(解説:佐藤泰弘)
- 第12輯 伊勢松本文書(解説:西山克)

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。